

2023年日本グランプリシリーズ 加盟制度の導入について

日本グランプリシリーズ(以下、GPシリーズ)は、国際大会につながる国内トップレベルの大会として、国内トップ選手のみならず海外選手が集い、シリーズを通して競うことにより、世界で活躍できるアスリートの強化・育成を図る陸上シリーズである。

競技場と相性の良い種目設定、高い競技力を有する競技者を揃えることによる競争意欲の促進、記録向上に繋がる番組編成、観客動員、エンターテインメント性に富んだ場内演出など、好記録が狙える環境を整備することに重点を置き、一つでも高いワールドランキングカテゴリー認証を目指し、高いパフォーマンススコアを狙う。

トラック&フィールドシーズン年間を通して、国内各地で開催することで、国内のファンに広くトップ選手のパフォーマンスを披露し、よりファン層の拡大や応援文化を定着させ、陸上競技のブランド力アップを図る。また、陸上競技会を持続可能な事業とするため、競技面だけの充実ではなく、地域行政/企業と連携し、陸上ファンや子供たち、地域住民が楽しめるイベント等に取り組んでいく。

加盟要件

1. シリーズ名称

(1) 正式名称 日本グランプリシリーズ

※シリーズスポンサーがついた際は「スポンサー名」日本グランプリシリーズとする。

(2) 略称 GPシリーズ

2. グレード

WA大会カテゴリーに準じて、グレード1, 2, 3の3カテゴリーに分類する。

| 区分 | WA大会 カテゴリー | 国際認証 競技場 | WRK | 運営補助 費の支給 | 映像配信 権利 | GP種目 賞金設定 | 競技以外 のイベン ト※5 | 800m以上 ペースメー カー | 海外招 聘担当 |
|---------------|--------------------------|--------------------|-----|---------------|------------|----------------|---------------------|-----------------------|------------|
| グレード1 (G1) | WACT※1 シルバー (Bカテゴリー) | クラス I or クラス II | 対象 | 200万円 (税別) | 日本陸連 ※4 | 総額 \$75,000 | 必須 | 必須 | 必須 |
| | WACT ブロンズ (Cカテゴリー) | クラス I or クラス II | 対象 | 200万円 (税別) | 日本陸連 ※4 | 総額 \$25,000 | 必須 | 必須 | 必須 |
| グレード2 (G2) | WACT チャレンジャー (Dカテゴリー) | クラス I or クラス II | 対象 | 補助なし ※3 | 各大会 | 推奨 | 推奨 | 推奨 | 必須 |
| | (Eカテゴリー)※2 | 不要※2 | 対象 | 補助なし ※3 | 各大会 | 推奨 | 推奨 | 推奨 | 指定なし ※6 |
| グレード3 (G3) | (Fカテゴリー) | 不要 | 対象 | 補助なし ※3 | 各大会 | 推奨 | 推奨 | 推奨 | 指定なし ※6 |

※1:WACT(ワールドアスレティックス コンチネンタルツアー)

※2:Eカテゴリーの指定は、WAから配分される大会数に準じて日本陸連が指定する。

2023年のEカテゴリーへの指定にWA認証クラス I、クラス II は不要となることが決定した。2024年からはEカテゴリーの指定にWA認証クラス I、クラス II が必要となる予定。

※3:シリーズスポンサーが付いた場合は、G2、G3大会にもGP運営補助費を支給する。
ただし、金額は別途設定する。

※4:G1大会の映像配信費用は日本陸連が負担する。

※5:GPシリーズ事務局と連携し、事前もしくは大会当日に競技以外のイベント等を実施する。

※6:海外選手を招聘する場合は、担当をつけることを推奨する。

3. シリーズ加盟権利

(1)日本グランプリシリーズ呼称、ロゴ使用
すべてのグレードで使用可。

1)大会名称表示方法

①グレード1の場合

日本グランプリシリーズ グレード1

大会名

兼 WAコンチネンタルツアー(シルバー/ブロンズ)大会

②グレード2の場合

日本グランプリシリーズ グレード2

大会名

兼 WAコンチネンタルツアーチャレンジャー大会 or ワールドランキングEカテゴリー大会

③グレード3の場合

日本グランプリシリーズ グレード3

④競技会の名称を最も強調する。

⑤「日本グランプリシリーズ」は、競技会名称の上に小さく表示する。

⑥サブタイトルの表記は強調しない。

⑦サブタイトルが該当しない場合は表示しない。

2)大会名英表記(英語版大会要項など)

-Japan Grand Prix Series

-World Athletics Continental Tour (Silver or Bronze or Challenger)

-World Athletics E category

-World Ranking Competitions

3)「ロゴ標記マニュアル」に基づきGPシリーズロゴを掲載する。

GPシリーズロゴの使用に関しては、別途送付のロゴマニュアルをご確認ください。ロゴ掲載するものに関しては必ず事前チェックが必要になります。

(2)WRK(ワールドランキングコンペティション)

加盟大会は、WRK対象大会として本連盟を通じてWAIに申請する。

WRK申請手続きは各大会が行い、申請費用はGPシリーズ事務局が負担する。

WRKの対象となるための条件などが生じる場合、GPシリーズ事務局と連携し加盟大会が対象となるように、最大限サポートを行う。

(3)WACT(ワールドアスレティックス コンチネンタルツアー)加盟申請

種目の極度な偏り、開催期日の過密化を避けるために、GPシリーズ加盟大会からのみWACTの申請を行う。申請書は各大会主催者が作成し、本連盟がWAIに申請する。

WACT規程概要([PDF](#))

(4)GPポイントの付与

ポイント対象大会の種目およびラウンドごとの記録をポイント化し、年間を通じて獲得した「シリーズポイント」でランキングを争う。

シリーズポイントが最も高い男女各1名が「シリーズチャンピオン」となる。

(5)CT運営補助費

G1大会は、賞金、ペースメーカーなどCTシルバー/ブロンズとして大会を開催するにあたって必要な経費をサポートするための運営補助費200万円(税別)を日本陸連から各大会に支給する。

CT運営補助費200万円(税別)は大会運営に必要な賞金、ペースメーカー交通費/宿泊費等にかかる費用、また、権利においては映像配信権利、シリーズスポンサーアクティベーションを含むものとする。

(6)GP運営補助費

シリーズスポンサーが付いた場合、CT運営補助費の対象大会以外のシリーズ加盟大会(シリーズスポンサーアクティベーションを実施を条件とする)に、GP運営補助費を支給する。GP運営補助費は大会運営に必要な賞金、ペースメーカー交通費/宿泊費等にかかる費用、また、権利においてはシリーズスポンサーアクティベーションを含むものとする。

4. シリーズ加盟条件

(1)申請基準

- 1)トラック&フィールド競技会であること(ロード/クロスカントリー/競歩競技は除く)
- 2)2023年1月1日～12月31日に開催される競技会であること。
- 3)参加者が特定の登録(学連、実業団)、年齢や地域に限定された競技会は申請対象外とする。
例)県選手権、高校総体、学生選手権、実業団選手権等は申請不可

(2)競技会日程

日本連盟と協議の上、日程を最終決定すること。

(3)各種予算確保

1)賞金の予算

G1のGP種目における上位入賞者には、WAの規定に準じた賞金の支払いを義務とする。

G2、G3大会の賞金設定の有無は主催者任意とするが、大会の特徴に準じてGP種目では賞金設定することを推奨する。

| | |
|----|--|
| G1 | CTシルバー-賞金総額US\$ 75,000 CTブロンズ-賞金総額US\$ 25,000 ※WACTの規程が変更された場合は、新しい規程に準じる。 |
| G2 | 指定しない(推奨) |
| G3 | 指定しない(推奨) |

2)選手招待の予算

GP種目で1名以上は招待選手として交通費、宿泊費等(一定金額の補助費)を負担すること。招待条件の負担金額については各大会主催者で決定し、設定できる。

3)日本陸連派遣役員の経費負担

大会主催者はJTO1名、NFR1名(1/10の経費)、日本陸連事務局員1名の派遣費用を負担する。費用は大会終了後に日本陸連から請求する。

①JTO1名分:交通費、宿泊代、日当

日本陸連(CT種目に関してはWA)競技規則と競技会規程に従って行われていることを確認/指導する。

②日本陸連事務局1名分:交通費、宿泊代、日当

GPシリーズ及び各大会が円滑に運営されるよう、シリーズの主催として業務に

携わる。また、広報および各種情報発信等を行う。

- ③NFR1名分：謝金、交通費、宿泊代、日当の合計 1/10
※ドーピング検査の対象競技会に指定された場合に限る
日本陸連及び主催者の立場で、競技会における救急処置の設備確保及びJADA、DCOと協働し、ドーピング検査が円滑に行われる施設を確保する。
- ④その他主催者が派遣を希望した役員：交通費、宿泊代、日当
- ⑤経費の算出について
交通費 最寄り駅から宿舎までの往復金額。
乗車券、航空券の手配は、派遣役員各自で手配する。(実費精算)
宿泊費 朝食付きシングル。
日当 JTOなど 5,000 円/日 前泊を伴う場合は前泊分も発生する。
謝金 NFR 15,000 円/日(大会日)／ 大会日以外は日当5,000 円/日
トレーナー謝金 11,137 円/日(大会日のみ)／ 大会日以外は日当5,000 円/日

- 4) G1大会のペースメーカーの交通費・宿泊費の予算
G1大会はペースメーカーの交通費・宿泊費は各大会で負担すること。
ペースメーカー謝金はGPシリーズ事務局が負担する。
- 5) CT大会のTD(技術代表)派遣費用の予算
CT大会については、WACTとして派遣が義務付けられているアジア陸連派遣TDの航空券(原則ビジネス)・交通費・宿泊費・日当は、主催者の負担とする。
TD 同一人物が一度の派遣で複数の競技会を担当した場合、該当する主催者にて折半すること。
- 6) CT大会の海外招聘にかかる予算
CT大会については、海外選手の受け入れや現地対応にかかる費用を予算化すること。
※海外招聘に関わる業務は別紙参照のこと。(PDF)

(4) 競技運営

- 1) 大会要項
大会要項(案)が完成次第、事前に日本陸連大会担当者へ送付する。
日本陸連大会担当者は、要項の記載内容を確認し、修正等があれば主催者へ連絡をする。
- 2) WA競技規則による運営
WRK対象大会につき、当該年度のワールドアスレティックス競技規則により実施すること。
- 3) 日本陸連よりJTO1名を派遣する。
- 4) CT大会にはアジア陸連からTDを派遣する。

(5) エントリーリスト

- 1) 各種目のエントリー上限数は、必要に応じて主催者にて決定する。
- 2) エントリー締切後、エントリー更新日までに欠場届が出ている種目については、ウェイトンリストから補充し、新しいエントリーリストを各大会ウェブサイト上に公開する。
- 3) エントリーリストはウェイトンリストの順番がわかるように掲載する。
- 4) エントリーリストの更新は、公開後に最低1回行い、それ以上の更新については大会運営の対応可能な範囲で、各主催陸協の判断でウェイトンリストから補充する。ウェイトンリスト補充最終日は主催陸協にて定め、エントリーリスト発表時に日時の情報を公開する。

※極力、空きレーンの無いような仕組みづくりを実施。
5) 英表記を併記すること。

(6) スタートリスト

大会2日前の17時までの欠場者を削除して、大会前日にトラック全種目を番組編成する。状況に応じて、GPシリーズ事務局の事前確認を行うこと。
英表記を併記すること。

(7) 海外選手招聘に関する担当部署の設置

CT大会については、海外選手招聘に関する担当部署の設置を必須とする。

(8) ペースメーカー

G1大会は、800m以上のAレースにはペースメーカー設置を必須とする。
G2、G3大会については、ペースメーカーの設置を推奨する。
ペースメーカーの設定と手配についてはGPシリーズ事務局と協議の上、決定すること。

(9) テレビ放送・インターネット配信

G1大会は、日本陸連が大会のライブ配信を行う。配信にかかるカメラマン等の配信費用は日本陸連が負担する。
G2、G3大会は各大会でライブ中継でテレビ放送もしくはライブ配信を行うこと。配信にかかる費用は各大会が負担する。

(10) 放送素材の提供

日本陸連から放送素材等の映像データを求められた場合は無償で提供すること。提供された映像データについては、シリーズ全体の広報および研究活動、競技の普及振興などの目的に使用する。

(11) 大会事務局の設置

主催者における「大会ディレクター」を設置する。
大会ディレクターは大会運営に関する全てを統括する。
大会ディレクターは好記録が狙える環境を整備すると共に、イベントの企画/調整についても統括し、陸上ファンや子供たち、地域住民に親しまれる大会になるよう努めること。
大会ディレクターのもとには役割に応じて次の担当を置くことができる。

- 1) 競技運営
- 2) 選手募集・招聘
- 3) 自治体、協力団体との調整
- 4) マーケティング
- 5) 広報(事前の集客対策・大会プロモーション)
- 6) イベント・ファン企画
- 7) 報道担当(事前記者発表/リリース/当日のメディア対応)
- 8) 宿泊・輸送担当
- 9) 医務・ドーピングコントロール担当 等

※大会ごとに状況に応じた適切な役割分担をすることが望ましい。

(12) ファン拡大に向けた地域イベント

G1大会は、事前もしくは当日にGPシリーズ事務局と連携したイベントを実施する。
G2、G3大会は、イベント実施を推奨する。
イベントを実施するにあたって各大会の中で「イベント運営チーム」を設置する。イベント運営チームでは陸上ファンや子供たち、地域住民に親しまれる大会にするために、GPシリーズ

事務局と連携し、競技以外のイベント等を企画し、実施する。開催地行政とも連携し集客やボランティアの手配、PR協力等を働きかけること。

(13) シリーズブランディング及びプロモーション

- 1) GPシリーズのロゴを、大会ウェブサイト及び大会要項に掲載すること。
大会プロモーション用の印刷及びデジタルの制作物に可能な範囲でシリーズロゴを掲載すること。(例:ポスター、パンフレット、チラシ、公式プログラム、スタートリスト、リザルト、ソーシャルメディア等)
- 2) 陸連オフィシャル取材関連
大会当日、大会PR、シリーズ広報のため日本陸連のオフィシャル取材がある場合は、円滑に取材ができるようADカード、ビブス、撮影位置などについて協力すること。

(14) シリーズスポンサーの権利とアクティベーション

シリーズスポンサーがついた場合は、日本陸連が指定する以下の権利の行使に協力すること。また、シリーズスポンサー企業が希望する場合は、スポンサーアクティベーションの実施に協力すること。※最終的には大会主催者とシリーズ事務局との協議の上決定する。

- 1) 看板、バナー
大会インフィールドボード、大会大型バナーを設置すること。
- 2) アスリートビブス
掲出可能な場合はアスリートビブスの下部にシリーズスポンサー企業ロゴを掲出すること。掲出した主催者には運営補助費を追加で支給する。金額は別途設定する。
- 3) プログラム広告
プログラムを制作する場合、A4サイズ1ページを表3カラーで掲出すること。
- 4) ブース出展
ブースの位置の確保や調整等に協力すること。
- 5) 大会MVP
大会主催者が大会毎にMVP1名を選出する。
- 6) GPシリーズ日本記録賞
日本記録が樹立された場合は、GPシリーズ日本記録賞ボードとともにフォトセッションを行うこと。
- 7) グランプリシリーズロゴ露出
制作物がある場合は、GPシリーズロゴまたはエンブレムを使用すること。
- 8) その他
シリーズスポンサー企業のADやチケット・駐車証・プログラム等を、相当数準備すること。

(15) イベントプレゼンテーション(EP)

応援、BGM、アナウンス、演出など、EPの工夫により大会を盛り上げ、競技者のモチベーションアップや、陸上ファンがより楽しみ、満足してもらえる競技会を目指す。GPシリーズ事務局と相談の上、下記の項目を調整すること。

- 1) 無音の状況はつくらない。(選手紹介、競技会中のBGM等、音楽の活用)
- 2) 大型映像の演出的な活用
- 3) 競技開始前の Lane by Lane 紹介、One by one 紹介、注目選手紹介など
- 4) アナウンサーによる注目競技の誘導
- 5) テレビ中継、ライブ配信との連携等

(16) 医務及び救護体制

- 1) 主催者は、競技役員として医師(医務員)1名以上を任命する。
- 2) 主催者は、緊急医療体制(AEDの配置を含む)を整備する。

- 3) 競技場で行われる競技会では、スタジアムに救護ステーションを設置し、フィニッシュ付近ともう1か所(合計2か所以上、4名以上)に競技役員としてトレーナーを待機させる。

(17) ドーピング検査

ドーピング検査の対象大会に指定された場合、主催者は下記を準備/対応すること。

- 1) 主催者は、日本アンチ・ドーピング規程を適用し厳格に遵守し、日本アンチ・ドーピング機構及び本連盟医事委員会に相談の上、ドーピング検査室を設置する。
- 2) ドーピング検査の対象になった競技者の移動手段を確保すること。
- 3) ドーピング検査の検体数及び検査内容については、日本アンチ・ドーピング機構及び本連盟医事委員会との協議により指定する。
- 4) 世界記録もしくはエリア記録が樹立された場合、ドーピング検査を行う。
- 5) オリンピック種目で日本記録が樹立された場合、ドーピング検査を行う。
- 6) 海外から参加した競技者から特段の理由により希望があった場合、競技者の費用負担でドーピング検査を行う。

(18) 報道対応

- 1) 大会要項、エントリーリスト、スタートリストのWEB公開日時は日本陸連大会担当者に確認の上決定し、大会主催者及び日本陸連が同時に情報発信すること。
- 2) 主催者は、競技運営に支障のない限りにおいて報道関係者が取材や撮影を行いやすいよう報道対応を行う。
- 3) 当該競技会のウェブサイトを開設し、競技会要項、競技日程、競技会参加者リスト等の情報を掲載する。
- 4) 競技会の2週間前までに報道窓口を設置する。
- 5) 競技会の規模にあわせて、次のものを設置する。
 - ① プレス・ワーキングルーム
 - ② インタビューエリア
 - ③ 撮影エリア
 - ④ スタートリスト及び競技結果掲示板

(19) 保険

- 1) 競技者、競技役員及び観客からの賠償請求に対応しうる保険に加入すること。
- 2) 競技会中止を補償する保険に加入することが望ましい。

5. 加盟審査

「日本GPシリーズ加盟審査グループ」を設置し、加盟競技会を選考する。

加盟審査グループは、有識者(強化、競技運営、外部等)、選手代表(選手、アスリート委員会等)、日本陸連事務局から構成される。

6. 加盟手続き

(1) スケジュール

| | |
|------------|--|
| 8月29日(月) | 日本陸連理事会にて加盟要件概要を提示。 |
| 9月9日(金) | 加盟要件を通知、HP公開。 |
| 9月～ 10月 | 加盟要件のZoom説明会を2回実施。参加者は希望団体のみ。 ・第1回説明会 9月16日(金)17時00分～ |

| | |
|--------------|---|
| | ・第2回説明会 10月3日(月)17時00分～ 説明会申し込みフォーム: URL |
| 10月19日(水)17時 | 募集締め切り、審査、加盟大会決定 |
| 11月上旬 | 加盟大会発表 |

(2)提出書類

- 加盟申請書([Word](#))
- 大会要項(案)
- 前回大会競技日程
- 大会収支予算書(前回大会の収支と今大会の予算案)
- 救護体制が確認できる資料

6. 問い合わせ先

公益財団法人日本陸上競技連盟 GPシリーズ事務局
事務局 事業部事業課 吉澤・粳田(うるちだ)

e-mail:japangp@jaaf.or.jp

TEL:050-1746-8410(会社代表) 粳田携帯:080-7932-1036